SDGs新聞	株式会社イチケン
工事現場でもたくさんの女性が活躍	

SDGsラジオを読んでみよう！

「工事現場」と聞くと力仕事が多く、男性ばかりが働いているというイメージはありませんか？しかし今、女性が増えつつあるんですよ。
スーパーやショッピングセンターなどの建物をつくっている「商業施設建築のスペシャリスト。建設会社のイチケン」でも、
女性社員が工事現場で活躍しています。
日ごろ普段着で働く女性社員が作業服を身にまとい、工事現場を訪れ、
作業に適した明るさが保たれているか？熱中症対策が行われているか？ゴミはきちんと分別されているか？など、
パトロールを行い働きやすい職場づくりを指導しています。
彼女たちは、オフィスと工事現場をつなぎ、会社全体のコミュニケーションを活発にする役目も果たしているんですよ。
社会では今、これまで男性が多かった職場でも、たくさんの女性が活躍しています。
みなさんが大人になる頃には、今よりももっと色んな場所で男女問わずに活躍する世界になっているかもしれませんね。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！

画像参照：女性社員の環境衛生パトロールの様子

工事現場などの力仕事が必要とされる職場は、これまで「男性ばかりが働く場所」だとイメージされてきました。たしかに女性は男性と比較すると、体力面や筋力などのハンディキャップは否定できませんが、女性ならではの感性を活かせる仕事もあります。全国のショッピングセンターやスーパーマーケットなどの商業施設をはじめ、さまざまな建物をつくっている「建設会社のイチケン」でも、たくさんの女性が活躍しています。日頃はオフィスで働く女性社員が、現場作業用の制服やヘルメットを着用して、工事現場の環境衛生パトロールを行い、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

画像参照：女性社員の環境衛生パトロールの様子

パトロールの点検項目は、ゴミの分別がきちんとされているか？トイレや更衣室の掃除はきれいにされているか？などの環境衛生面や「５S活動」の観点からも行い、男性では気が付かなった女性独自の細やかな視点で、新たな問題点を発見するなど、職場環境の改善が多面的に行われて、効果が表れています。近年、日本全体で推し進めているダイバーシティ&インクルージョンの考え方から、男女問わずにいろいろな職業や分野で活躍する社会が実現しつつあります。イチケンでも今、この環境衛生パトロールだけでなく、工事現場を管理する施工管理技士や建物を設計する建築士などの技術職、部下を指揮・管理する管理職の女性を増やしていくことにも力を入れ、ダイバーシティ&インクルージョンの推進に向けて積極的に取り組んでいます。

キーワード

５S活動

「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「しつけ」の5つのSからはじまる、職場環境の改善を目的とした活動のことです。

ダイバーシティ&インクルージョン

性別、国籍・障がいなどの違いを認め合い尊重し、これを組織内で受け入れ、個々が能力を発揮して活躍できている状態のことです。

技術職

数学や理科、工学、情報工学といった理系の専門的な知識を活かし、ものづくりに携わる仕事のことです。建設業の技術職は大きく分けて、工事現場で指揮を執る施工管理と設計の2種類があります。

対象ゴール

みなさんにできること！

ダイバーシティ&インクルージョンについて理解し、周りの人にも教えてあげましょう。

おさらい

- 工事現場などの男性が多かった職場でも、女性が活躍するようになってきた。
- イチケンでは、女性社員による「環境衛生パトロール」で良い職場環境をつくっている。
- ダイバーシティ&インクルージョンを進めていくことは、社会にとってとても大切。

メモ

SDGsラジオ